



contents

- P4 舟形町のうごき
- P5 山形ふるさとCM大賞「町制施行70周年 想いは未来へ 舟形町」
- P6 次の5年に向かって ～第7次舟形町総合発展計画～ Vol.2
- P10 発掘！舟形のお宝
- P12 ふなトピ
- P14 まちかど掲示板
- P15 地域おこし協力隊コラム「舟形見聞録」
- P16 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P17 舟形産直だより、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P18 町制施行70周年記念事業 映画「荒野に希望の灯をともす」舟形町上映会



表紙の紹介

1月1日、舟形八幡神社に多くの参拝者が初詣に訪れ、一年の無事を祈っていました。元旦の午前0時になると、神主は御神体に向かい祝詞を奏上し、訪れた参拝者は頭を下げて、静かに聞き入っていました。



令和7年

# 新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、健康やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年12月1日に、舟形町は町制施行70周年を迎えました。10月27日には記念式典を挙行し、昭和時代に記録した8ミリフィルムをもとに製作した地域映画「想いは未来へ」の上映などをおして、かつての日常を振り返るとともに、未来へ繋ぐ新たな一歩を踏み出す節目となりました。

東北農林専門職大学の開校も、町にとって大きな契機となりました。大学用アパートの整備により、10名の学生と、学長はじめ8名の教職員が舟形町民となり生活しています。さらに今年、新入生用に建設されるアパートについても、定員を超える応募状況となっております。大学との連携による農業の振興と交流人口の拡大に期待が広がります。子育て支援の取り組みでは、第2子以降の出生祝い金の増額や、保育料の完全無償化を実施したほか、日本一の給

食食育推進事業の取り組みの中で、全国学校給食甲子園にチャレンジし、参加1,051件の中、2次審査を突破し全国60校の中に選出されました。

また、住民サービスにおいても、書かないスマート窓口やセミセルフレジ、デマンド型乗り合いタクシー予約システムを導入など、デジタル化の恩恵を享受できるような取り組みを進めながら、先進的少数社会の実現に向けた、行政サービスのさらなる利便性向上を図ってまいりました。

一方、大きな災害が全国ニュースにもなりました。7月25日から26日にかけての記録的豪雨により河川の氾濫や土砂災害が発生し、家屋の全壊や浸水、道路や農地、農業用施設などが甚大な被害を受けました。今なお町民の生活に大きな影響を及ぼしており、町では災害復旧費として33億円の補正予算を計上し、一日も早い復興に向けて対応しているところです。

さて、令和7年度は、「第7次舟形町総合発展計画」の後期短期アクション

ンプランがスタートする節目の年でもあります。急速に変化する社会経済情勢の中で、自治体を取巻く環境も大きく変化し、人口減少や少子高齢化といった問題に加え、頻発する自然災害への対応や進展するデジタル社会への適応など、時代の変化がもたらす課題は多岐にわたります。こうした状況の中ですが「任んでいる人が誇れるまち」の実現を目指し、引き続き子どもたちが健やかに成長できる環境を整えるため、子育て世帯への切れ目のない支援を充実させるとともに、高齢者が安心して暮らし、生きがいを持ちながら社会参加できる環境づくりに取り組んでまいります。

本年の干支である「巳」は、新たな成長と繁栄を象徴する年とされています。本年が皆様にとりまして、健康で慶びに満ちた一年となりますことを心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶といたします。

舟形町長 森 富広

## 今年は「乙巳」です

干支は「十干」と「十二支」の組み合わせからなり、60年で一巡します。今年の十干は「乙」、十二支は「巳」のため、今年の干支は「乙巳」となり、十干十二支では42番目にあたります。一巡前の「乙巳」にあたる1965年の日本では、前年に開催された東京オリンピックの流れをくみながら力強い経済成長を遂げています。舟形町では、舟形保育所、富長・堀内児童館が町営で開設、舟形町老人クラブ連合会や舟形町振興審議会が発足などの出来事がありました。

「乙」は十干の2番目で未だ発展途上の状態の意味、「巳」は蛇を表し、豊穡や金運を司る縁起の良いものとされています。また、植物が最大限まで成長した状態のことを意味します。

60年に一度の「乙巳」の今年は、これまででの努力や準備が実を結び始める一年となりそうです。

